

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和5年度）2023

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	6	5	月	7:50	11:00	藤金市民の森	10名
活動名称	藤小 野外学習支援					報告者：吉井	

1、活動目的

8年前から依頼されて実施している藤小3年野外学習支援を今年も依頼されました。今年からは6月から実施となりました。小学生が樹林地や河川の里山環境と触れ合うことで、生態系サービスを実感し、未来にむけて鶴ヶ島地域の生態系サービスを増大してくれることを期待します。

2、活動内容ほか

野外学習第1回は、1組が、6チームに分かれ、「市民の森について」「市民の森生態系」「森の整備活動」「竹林について」「大谷川について」「蛍について」を順番に、説明をうけた。2組は、ハンモック体験ということで、15張りのハンモックで遊び、新緑の市民の森を楽しんだ。

3、評価：

6か所の森の説明は、森の中という会場のせいか、児童は、興味をもって、聞いてくれたように思える。ハンモックは、いつものことであるが、子どもたちが大はしゃぎで、ブランコ遊びを楽しんでくれた。ただし、ハンモックは、寝具であり、のんびり新緑を眺めて、市民の森の心地よさを実感してほしい。海外旅行でハンモックで眠ることを経験した場合は、絶対ブランコ遊びは禁止することを伝えた。今回、6チームに分かれることと、ハンモックを森いっぱい張り巡らせたことで、スタッフが不足することが懸念された。担任に父兄のお手伝いをお願いしたところ、父兄に呼び掛けてくれて、13名の父兄が、参加してくれた。スタッフ不足の手伝いということもあるが、森の授業に参加するという面もあり、参加した父兄からも好評であった。次回も参加してくれるとのことで、喜ばしいことである。

4、課題

父兄からの意見で、せっかくの野外授業なのでもっと体験ができるとういことでした。体験も含めて、野外授業なのだから、教室ではできない現場授業になるよう努力したい。

<里山参加会員>

小沼、石川、小嶋、佐野、杉山、小澤邦、吉井、大森、柏木、橋本、島崎（自然を守る会）

<活動写真>

